

令和2年度 学校評価 自己評価書（1学期） 東谷山中学校

1 学校の重点目標

1 学力向上	2 人間力向上
3 体力・気力の向上	4 地域・郷土に開かれた学校

2 教育目標について

具体目標（校訓）	評価の観点	職員
1 考える人（英知）	めざす生徒像	2.9
2 心豊かな人（情操）	めざす学校像	3.1
3 たくましい人（健康）	めざす教師像	3.1

3 実践5項目について

	評価の観点	職員	評価結果と改善方策
1	基本的な生活態度の定着	2.9	・学力向上に向けて授業改善とweb問題や演習問題への取組を推進する。 ・あいさつや掃除などよく取り組んでいるが、生徒会を中心にさらに生徒の自治力を上げていく。
2	学力向上	2.9	
3	勤労、協調の精神の高揚	2.9	
4	礼儀と正しい言葉遣い	3.1	
5	環境の整備、美化	2.8	

4 学年・学級経営について

	評価の観点	職員	評価結果と改善方策
学年経営	1 学年目標の実践	3.0	・企画・生指委員会等で情報共有を図る。 ・新型コロナの影響で PTA 総会や専門部の役員決めができていない。コロナ渦の学級 PTA の実施などこれから検討していく。
	2 学年の連携・一貫性	3.1	
	3 他学年との連携	2.8	
	4 PTA との相互理解・連携	2.4	
学級経営	1 学級目標の適正化	3.0	・不登校対策委員会を月1回実施し、共有理解・共通実践を図る。 ・助け合い活動や共同作業ができるようにコミュニケーション能力の育成を推進する
	2 学級目標の具体化・実践化	2.8	
	3 学習意欲向上の配慮	2.8	
	4 学級内相互の信頼関係	3.0	

5 努力点について

	評価の観点	職員	評価結果と改善方策
1	学習指導の充実	3.0	・コロナ渦での学習指導の充実を目指し、職員一人一人の ICT 技術の向上を図る。 ・新型コロナ感染症やインフルエンザ等の感染症対策については、感染状況に応じた取組を継続する。 ・特別支援教育について、生徒個々の特性に応じた対応ができるように職員研修等で理解を深める。 ・安心安全メールで情報を地域と共有し、生徒の安心安全を地域と共に見守る体勢を作る。 ・マイリフレッシュデーの確実な実施。
2	道徳教育の充実	2.9	
3	生徒指導の充実	3.0	
4	保健・安全指導の充実	3.1	
5	進路指導の充実	2.9	
6	人権・同和教育の充実	3.0	
7	特別支援教育の充実	2.9	
8	教育環境の整備と美化	3.0	
9	情報教育・国際理解教育の推進	2.9	
10	地域に根ざした学校、開かれた学校づくりの推進	2.5	
11	業務改善の推進	2.9	

6 次学期（年度）に向けての取組

- 教科指導については
 - ・標準学力調査等の分析から課題を明確にとらえ、ICT 機器の活用を推進しながら、言語活動を充実させることで、思考力・表現力を育成する。
- 生徒指導については
 - ・実践5項目を常に生徒に意識させ、落ち着いた雰囲気です学校生活が過ごせるようにする。
 - ・月1回の不登校対策委員会を確実に実施し、共通理解・共通実践、また関連機関との連携を図る。

*職員の評価は4段階の平均を示してある。